



32. 築 200 年超の酒蔵を改装した商業施設に対する支援

(宮城県大崎市)

タイトル	200 年以上前の大小 10 棟の酒蔵を改装した商業施設「醸室(かむろ)」に対する支援
銀行名	七十七銀行
取組みに至った経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・地元有志により設立された街づくり会社(株)醸室が江戸時代後期(寛政2年、1790年)に創業した橋平酒造店の使用していない10棟の酒蔵と4棟の母屋等がある一帯を譲り受け、大崎市からの出資等を基に飲食店中心の観光商業施設「食の蔵」に改装し、平成17年に開業。 ・市街地中心部の活性化と低迷していた地元商店街の売上増加や集客力アップとの相乗効果が図られたが、東日本大震災により多くの蔵が被災。長期休業を余儀なくされ、テナント離れによる資金繰りの悪化等により一時は存続が危ぶまれたが、継続を支持する市民・行政等の支援により復旧を遂げる。 ・現在、年間18万人が訪れる宮城県大崎市を代表する観光商業施設となっている。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設立時の改装資金から継続的に資金支援を中心に、テナント紹介や情報提供等を実施。 ・震災からの復興において、宮城県グループ補助金等の情報提供や資金支援により、早期復旧を後押しした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の再開発事業、地元商店街および鳴子温泉等の近隣観光地との更なる連携強化。 ・駐車場の拡充や多言語対応など観光客受入態勢の整備。
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市古川 食の蔵 醸室 https://www.kamuro.info/